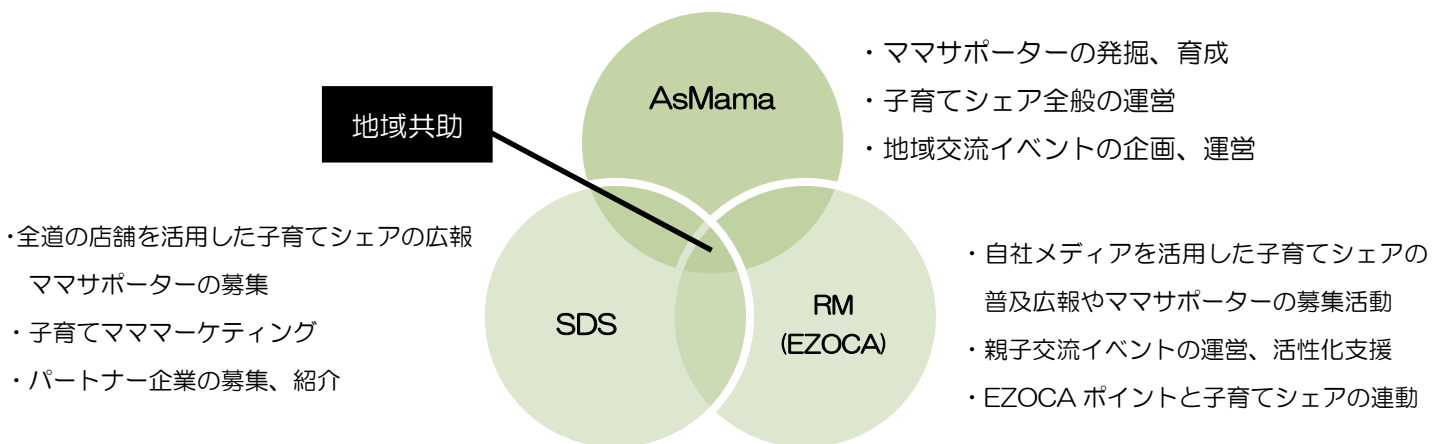


## 地域での子育てママの共助インフラ「子育てシェア」を AsMama、サッポロドラッグストア、EZOCA が協働して道内で展開します

道内に 150 店舗のドラッグストアを展開するサッポロドラッグストア（東証一部：2786、代表取締役社長 富山睦浩）は、信頼できる人同士が子どもの送迎や託児を気兼ねなく頼り合えるインターネットを活用した仕組み「子育てシェア」を運営する株式会社 AsMama（代表取締役社長：甲田恵子）、北海道共通ポイントカード「EZOCA」を運営する株式会社リージョナルマーケティング（代表取締役社長：富山浩樹）と協働し、地域での子育てママの共助インフラとなる「子育てシェア」の道内各地域での普及促進をしております。AsMama が認定する地域の子育てママの世話役人である「ママサポーター」を3社が協働して道内で 500 人規模まで発掘・育成していきます。地域の親子が顔見知りになる交流の場を多数の企業と共同で創りながら地域共助の促進と共助ネットワークを通じて道内の子育てママの支援に向けてサービスの向上を図っております。

### 道内子育てシェア運営スキーム

・ SDS：サッポロドラッグストア    ・ RM：リージョナルマーケティング



『子育てシェア』とは、顔見知り同士が1時間 500 円の謝礼ルールで子供の送迎や託児を共助し合うネットの仕組みです。登録料、手数料が不要で万が一の事故に対して保険がついています。登録者同士が顔見知りになるために企業や施設にもご協賛いただく親子交流イベントを各地域で開催しています。AsMama 認定の「ママサポーター」はこうした地域での親子交流イベントの運営と同時に、毎月約 1,000 人の子育て世帯に対して「子育てを一人で抱え込むことなく周囲を頼りながら自分のやりたいことも子育ても両立させていきましょう」というメッセージを発信しながら『子育てシェア』への登録やご利用の促進、イベントへ誘客を行っています。このママサポーターを道内に増やしていくことでシニアの方々を含む子育てママの支援希望者の活躍機会を増やし共助促進に取り組みます。ママサポーター 500 人が誕生すると、年間延べ 600 万世帯に対する口コミマーケティングが出来る人メディアが誕生すると共に、年間 2,000 件以上の共助が実現すると見込んでいます。

今後の展開については以下のとおり計画しております。

●子育てシェアサービスを札幌市からスタートし、順次札幌近郊市、主要都市、道内全域への展開を図る

・初年度：札幌市 4 エリア（中～西、中～北、中～東、中～南）

→ママサポーター：50 人

・2 年目：道内主要 4 都市（旭川市、帯広市、函館市、釧路市）

→ママサポーター：200 人

・3 年目：その他の都市/エリア：千歳市、苫小牧、江別市、北広島市、恵庭市、室蘭市、登別市、小樽市、北見市、稚内市、

→ママサポーター：500 人

●各都市での事業展開

・サッポロドラッグストアー全店での子育てシェア及びママサポーター参画案内の開始

・ママサポーターの育成状況に応じて子育て世帯に積極的に PR したい生活や子育てに役立つ施設や商品を持つパートナー企業を誘致しながらの AsMama との共催で地域交流イベントを開催

・共助促進の一環として、子育てシェア登録者に EZOCA50 ポイントを付与。

■ 本件に関するお問い合わせ

株式会社サッポロドラッグストアー 経理部 経営企画

電話：011-771-8100 FAX：011-772-7574

株式会社リージョナルマーケティング EZOCA 事務局

電話：011-702-0720 FAX：011-704-3552